

STAGE+を楽しむ(96)(HP 収載)  
—サロネンのヴェルビエ音楽祭—

1. 始めに

前報(95)に引き続き、STAGE+のエサ=ペッカ・サロネンのヴェルビエ音楽祭の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、エサ=ペッカ・サロネンのヴェルビエ音楽祭の演奏を選びました。

エサ=ペッカ・サロネン in ヴェルビエ音楽祭 (ライブ)

ヴェルビエ音楽祭管弦楽団, エサ=ペッカ・サロネン

ベラ・バルトーク 《中国の不思議な役人》組曲 Sz. 7319:17

ロベルト・シューマン 交響曲 第3番 変ホ長調 作品97《ライン》

ジャン・シベリウス 交響曲 第5番 変ホ長調



3. 試聴の経過

今回も LAN アクライザーをスイッチングハブから PC への LAN ケーブルに装着して聴いていきます。

エサ=ペッカ・サロネン指揮ヴェルビエ音楽祭管弦楽団によるヴェルビエ音楽祭のライブ収録のアルバムです。

バルトークの《中国の不思議な役人》組曲は、西洋人からみた異国情緒を感じさせる賑やかな曲で、打楽器の音がリアルです。

シューマンの交響曲第3番《ライン》は、お馴染みの曲です。表題のライン河については、ドイツやスイスに数回出張時に眺めたり、また河下りもしていますが、雄大な流れや兩岸の美しい景色を思い出させてくれます。

シベリウスの交響曲第5番はサロネンの得意とするシベリウスもので、他の交響曲と違って憂愁の趣は薄く、美しい北欧の夏に思いを馳せるような表情が続きます。全体を通してライブ収録のライブ感がよく出ています。

#### 4. まとめ

LAN アクキュライザーの効果により、ライブ収録のライブ感がよく出ています。

以上